

Webデザイナーへの道 概論  
「Webデザイナーってなんだ」  
2020.0625

熊坂諭 著

## はじめに

当ドキュメントはWebサイトを制作するとは、なんぞやというところから始めたい。

技術的な話は、また別の機会に。

動画制作とは、また違った面白さがあつたりして。

登場人物も以外と多かったりするもんで。

結構な人が関わっているんだなあと感じることでしょう。

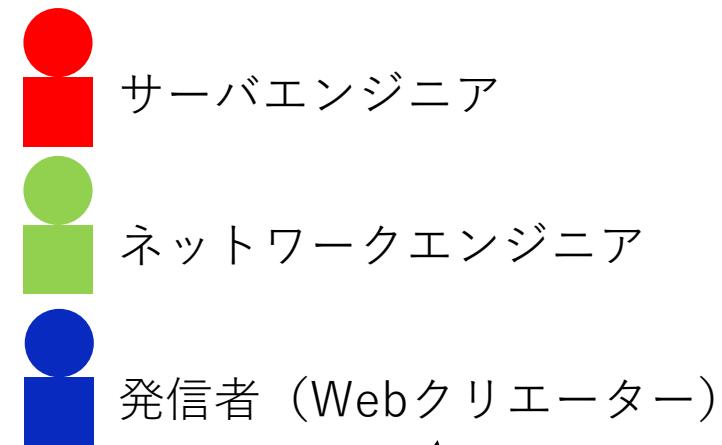
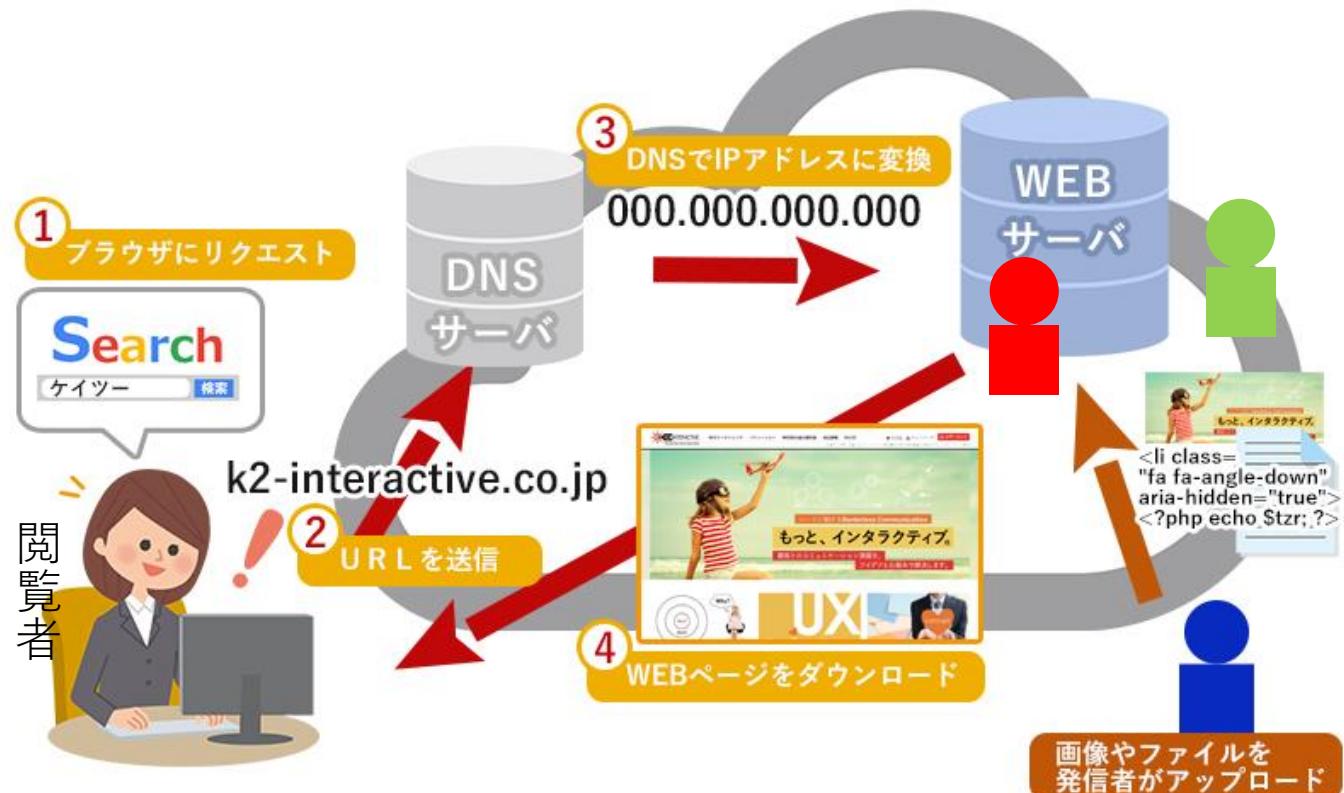
で、求人サイトでも募集の多い「Webデザイナー」って、なんだ？

というところを主に語れればなあと思います。

熊坂諭

とその前に

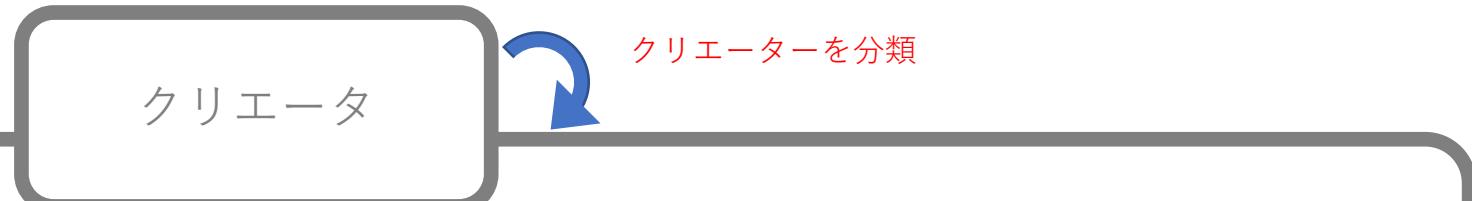
一言でWebって何だってなわけですが  
まずは日常的に我々がWebサイトを閲覧できる仕組みを押さえましょう。  
仕組みを紹介していたWebサイトがあったので図解を抜粋しました。



で、Webデザイナーというのは、  
Webクリエーターの中に含まれます。

で、今度はクリエーターの生態について分類分けをしていきます。

とにかくWebサーバ（あるいはWebサイト）になんらかのファイルをアップロードしていれば、Webクリエーターの仲間になれます。（多分）その前に、広義のクリエータを分類し、その中のWebクリエーターって何さというとこを分解してみましょう。



テレビ番組を作る人。映画を作る人、ミュージッククリエータ、建築家、画家、書道家、ダンサー、バンドマン、MC、パフォーマ、文化人、アパレルデザイナー……Webクリエーター……まだまだいるよ。



Webディレクター、Webデザイナー、グラフィックデザイナー、イラストレータ、マークアップエンジニア、プログラマー、フロントエンドエンジニア、サーバサイドエンジニア……

おっ、やっと出てきました。「Webデザイナー」

で、次にWebクリエーターの役割を分類してみましょう。ちょいと便宜上グラフィックデザイナーとイラストレーターはまとめました。でWebプロデューサーをくっつけます。

No	クリエータ名称	役割
1	Webプロデューサー	金とか予算とか司る神。チーム内の人事権もあるんじゃないかなと
2	Webディレクター	Webサイト制作の最高責任者。文字通り監督。棟梁
3	Webデザイナー	画面設計をする人
4	グラフィックデザイナー (イラストレーター)	画家。ポスターを作る。Webサイト上に掲載する画像を制作します。イラストの制作や、写真を加工することも多いですね。
5	マークアップエンジニア	Webサイトを多くの人に閲覧してもらえるようにコーディング内容に仕掛けを施す人
6	フロントエンドエンジニア	Webサイトをグリグリ動かすことができる魔術師
7	サーバサイドエンジニア バックエンドエンジニア (プログラマー)	フロントエンドエンジニアが画面上（目に見える部分）で派手なことをやりますが、バックエンドエンジニアは画面の裏（目に見えないところ）で魔術を使います。 ECサイトの申し込みデータを格納するとか、お客様に「申込完了」のメールを送信するとか。

で、次にWebデザイナーの作業領域（スキル）を分析・分解しますと、下記のような感じでしょうか

Web  
プロデューサー

Web  
ディレクター

グラフィック  
デザイナー

マークアップ  
エンジニア

フロントエンド  
エンジニア

バックエンド  
エンジニア

A

Web  
デザイナー

B

Web  
デザイナー

C

Web  
デザイナー

D

Web  
デザイナー

ざっくりA~Dのタイプにしましたがこんな作業を具体的にやってるんじゃないかなと・・・。

タイプA：グラフィックデザイナーと使うツールは似通っています。絵でデザインを作っていきます。

タイプB：HTML言語とCSS言語を組み合わせていわゆるhtmlファイルをデザインしていきます。

タイプC：javascript言語を使ってhtml内の動きの演出をしていきます

タイプD：ひとりでWeb制作全般をやりますという人

で、私は一社しか知らないので、多くは知りませんが。

企業毎に役割分類の仕方に個性があると思うので、先のページで解説したタイプの分類は、ほんの一例ととらえてください。

ですが、色々身に付けることで武器（できること）が増え、色々なことが「表現」という場で「実現可能」です。

というわけで、手始めに「A」のスキルを身に付け、その次にB、C、Dとステップアップしてければ良いのではと思います。

とりあえず、Webデザイナーというのはhtmlファイルに色々施していく人なんですが、一体何をしているのか。というわけで、「html」ってそもそもなんだよというのをちょっと見ていきます。

Html=HyperText Markup Language

ハイパーテキストマークアップラングイッチ。出ましたね。英語。

まあいい感じで説明しているWebサイトを発見したので紹介します。

---以下抜粋（出典：<https://www.kanzaki.com/docs/html/htminfo10.html>）---

ハイパーテキストとは、「テキストを超えたテキスト」というような意味です。つまり、通常のテキストにない機能を備えた「超」テキスト。

マークアップとは、普通の文書に目印を付ける（マークアップする）ことで、その部分が文書中でどんな働きをしているか（見出しなのか、段落などのかなど）をはっきりさせようという考えです。

ラングイッチとは、英語とか仏語とか、あるいはプログラミング言語<sup>(\*)</sup>などの「言語」というよりも、このマークアップをどんなルールで行うかをきちんと決めておくための約束、つまり文法という程度の意味にとらえたほうが良いでしょう。

---以上抜粋---

なんだか、わかったようなわかんないような。

「htmlとはなんなんだ？」という問い合わせに私なりの解釈を加えて回答するとすると「超すごい電子的な書類」「えっ書類ですか？」という声が聞こえそう。

でもこう考えた根拠があるんです。

それは・・・。

とりあえず、Webデザイナーというのはhtmlファイルに色々施していく人なんですが、一体何をしているのか。というわけで、「html」ってそもそもなんだよというのをちょっと見ていきます。

Html=HyperText Markup Language

ハイパーテキストマークアップラングイッチ。出ましたね。英語。

まあいい感じで説明しているWebサイトを発見したので紹介します。

---以下抜粋（出典：<https://www.kanzaki.com/docs/html/htminfo10.html>）---

ハイパーテキストとは、「テキストを超えたテキスト」というような意味です。つまり、通常のテキストにない機能を備えた「超」テキスト。

マークアップとは、普通の文書に目印を付ける（マークアップする）ことで、その部分が文書中でどんな働きをしているか（見出しなのか、段落などのかなど）をはっきりさせようという考えです。

ラングイッチとは、英語とか仏語とか、あるいはプログラミング言語<sup>(\*)</sup>などの「言語」というよりも、このマークアップをどんなルールで行うかをきちんと決めておくための約束、つまり文法という程度の意味にとらえたほうが良いでしょう。

---以上抜粋---

なんだか、わかったようなわかんないような。

「htmlとはなんなんだ？」という問い合わせなりの解釈を加えて回答するとすると「超すごい電子的な書類」「えっ書類ですか？」という声が聞こえそう。

でもこう考えた根拠があるんです。それは・・・。

3点、根拠を示します。

## 根拠 1

Yahooでも、Googleでも、日本企業のサイトでも、なんでもいいんですが、ブラウザの機能を使って「ソースの表示」っていうのをやってみてください。今回は「日本語のWEBサイト」にしておいてください。で、ソースを表示させたら、まあいっぱい「文字列」が

と書いてあると思います。

ちなみに一行目は「<!DOCTYPE html>」と書いてあると思います。

これ、googleとかyahooに発見してもらえるように、ブラウザに「私はWebサイトです」と認識してもらえるようにソース上で必ず書くことばです。

意訳すると「私は、htmlで書かれた書類です」ということです。

## 根拠 2

Webサイトを別の言い方してみましょっか。それは「ホームページ」です。そう「ページ」書類とか書籍を数えるときに使用する単位です。さらに気に入ったWebサイトをお気に入りとかブックマークとか呼びます。出た「ブックマーク」直訳すれば本のしおりですね。

### 根拠3

Htmlの開発の経緯を探る。Htmlは1989年生まれです。

色々な諸説ありますが「検索」という言葉があるように、世界中の書類・記録・書籍を見つけやすくすることが目的だと思います。

インターネットが巨大な図書館になったということかもしれません。

インターネットの技術は今も成長しており、インターネットという図書館を利用すれば音楽も聴けるし、動画も見れるし、買い物もできるぞ。というわけで、電子的なコンビニみたいになってますけど。

元々は「超すごい電子的な書類」です。

そう、したがって

私熊坂が定義するWebデザイナーとは、

書類をデザインする人を指すと考えています。

続く。